

今後の生涯研修講座決まる 魅力あふれる講座さらに充実 歯科臨床・学術学会部

協会の歯科臨床・学術学会部は、08年1月までの生涯研修講座のテーマと日程を決めた。(下記表)。詳細は本紙「行事案内」で随時案内する。会員が対象の生涯研修講座の会費はいずれも3千円となっている。

2007年 11月18日(日)	「歯科診療所における院内感染防止策—感染リスクの評価と標準的対応—」 駒井正氏 (宝塚市国民健康保険診療所 歯科口腔外科)
概要	4月から施行された医療安全管理指針の「院内感染対策」について、歯科医療のなかで「院内感染をどのように予防するか」一開業医が取り組める標準予防策について解説する。
12月9日(日)	「歯周病治療における化学療法の実際」 王宝禮氏 (松本歯科大学薬理学講座教授)
概要	歯周病の特殊性と歯周病が全身の健康状態に与える悪影響に関しての知識を深めていただき、歯周病の特殊性を念頭に置いた治療法の一つとしての化学療法の有効性を臨床データを基に解説する。
2008年 1月20日(日)	「日常臨床に役立つ嚥下障害の診断と治療(仮)」 野原幹司氏 (大阪大学大学院歯学研究科顎機能治療学講師)
概要	今後、先生方が遭遇する機会が増えていくであろう摂食・嚥下に障害を持つ患者に対してアプローチする場合、どんなことに注意して、どう行えばよいか、評価・検査から、障害への具体的な対処法を解説する。

※時間・会場はいずれも午前10時～午後1時、M&Dホール(保険医会館東隣り)



平坦面には埴輪が、墳丘の斜面には葺石が並べられている

前方後円墳は仁徳天皇陵が全国的に有名だが、

中河内にも前方後円墳がある。この地域を治めた

古代豪族の墓と考えられているが、被葬者は中河内一円に大きな勢力を持ち、大和朝廷の中核にも位置していた豪族の首長であったといわれている。
平成4年から史跡整備に伴う発掘調査が行われ、埴輪や埋葬施設など古墳の姿が明らかになり、鳳鏡・三葉環頭太刀・甲冑等の副葬品のほかに「水の祭祀場を表した埴輪」に代表されるような様々な埴輪が出土した。



中河内を代表する前方後円墳

約3000本の円筒埴輪が並ぶ

この辺りにあったという秦氏(渡来系氏族)の氏寺「秦興寺」の名に由来しているといわれている。

この辺りにあったといわれた墳丘の斜面には葺石が、平坦面には約3000本の円筒埴輪が並べられている。また、

みるごとの大きさに感動し、これだけのものを当時の技術で作るのは、並大抵のものではない大きな

おおざかウォッチング

188

目覚ましく進歩・発展した最近の臨床矯正の分野では他科(口腔外科、保存科、補綴科、歯周病科、小児歯科、インプラント科等)との連携治療が積極的に進められるようになってきた。このため歯科に関する疾病の取り

組み方も大きく変化し、その疾病を中心に位置づけ、基礎歯学では「生命科学の立場」で、また臨床歯学では「健康科学の立場」で究明しようとする思考過程に変遷してきている。したがって従来のように患者が各臨床科を渡り歩くのではなく、各関連臨床科での複数の担当医がその疾病に関してそれぞれの立場から最善の治療法を考え、アドバイスをし最終的には患者自身がその治療法を選択する、といった治療手順がとられているのが昨今の臨床現場でみられる実状である。

同じくこの意味で私の所属している臨床矯正科正学も、決して特殊な専門分野ではなく、いつも疾病を中心に他科とのより緊密な連携が不可欠な臨床科目であると考えている。

最近では、一般市民からも健康維持のための歯科に関する相談が増え、並びに関する相談が増えつつある。特に、臨床矯正治療では不正咬合の改善による口腔機能および心理面に与える影響は大きく、一般歯科治療に臨床矯正的配慮を行うことで治療効果の向上を図ろうとする若い先生方が増えつつある。矯正歯科治療は乳歯列期、混合歯列期、永久歯列期、成人の矯正治療など時期の違いに応じた対処が求められる。一般歯科診療の場で、歯並びの相談を受けるのは「混合歯列期の不正咬合の対処法について」が圧倒的に多い。

具体的講演内容として、臨床矯正に必要な基礎知識、「臨床矯正の診断と治療の進め方」、「混合歯列期によく適応される矯正装置」、「臨床矯正治療での治療効果の判定基準とその実際」、「一般歯科の中の矯正歯科」などの項目を挙げ、準備した参考資料に従って今回、この点を重視して受講される先生方(臨床矯正に心のある先生)と一緒に勉強し、より具体的な臨床に関する知識と技法を正しく伝える事が出来れば幸いに思う。

講習会資料に書き込み等を行います。定規とペン(2色必要)を持参ください。

10月度生涯研修 抄録

『一般臨床医に役立つ臨床矯正について』

濱田 充彦 (大阪歯科大学歯科矯正学講座講師)

基礎知識、「臨床矯正の診断と治療の進め方」、「混合歯列期によく適応される矯正装置」、「臨床矯正治療での治療効果の判定基準とその実際」、「一般歯科の中の矯正歯科」などの項目を挙げ、準備した参考資料に従って今回、この点を重視して受講される先生方(臨床矯正に心のある先生)と一緒に勉強し、より具体的な臨床に関する知識と技法を正しく伝える事が出来れば幸いに思う。

講習会資料に書き込み等を行います。定規とペン(2色必要)を持参ください。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

大阪市南部地区
「歯科領域にみる皮膚科疾患」～エイズ関連疾患を中心に～
日時 9月30日(日) 午前10時～正午
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 谷口恭氏(北区・すてらめいとクリニック、皮膚科・内科・アレルギー科)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 100人

堺・高石・和泉地区、泉州地区準備会共催
「開業医にできる症例、できない症例」
「レーザーの威力vs口腔外科」
日時 10月13日(土) 午後7時～9時
会場 サンスクエア堺(JR「堺」駅徒歩2分)
講師 大前政利氏(りんくう総合医療センター口腔外科部長)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 80人

勤務医会員対象「新規開業セミナー」
日時 10月14日(日) 午後1時30分～4時
会場 マイドームおおさか(地下鉄中央線・堺筋線「堺筋本町」駅、谷町線「谷町四丁目」駅より徒歩7分)
内容と講師 「開業資金計画の作り方と資金調達法」(税)関西合同事務所・涌島慎一氏
「開業を決めたら考える3つのこと」早田寿夫氏(住吉区開業)

女性医師・歯科医師の会主催
「認知機能の発現の仕組みと改善策—脳を知って元気に生きよう」
日時 10月20日(土) 午後2時30分～4時30分
会場 保険医会館 定員 40人
講師 女番央恵氏(前・関西医科大学生理学第二講座教授)

認知機能の発現に関わる大脳皮質や小脳の仕組みを、明らかにした成果を中心に説明する。
会費 会員無料、未入会者1万円

港・大正地区
「訪問診療への取り組み方」
日時 10月20日(土) 午後6時30分～8時30分
会場 弁天町市民学習センター(JR環状線・地下鉄中央線「弁天町」駅すぐ)
講師 華房英樹氏(岡山市開業)

月300件の経験をもとに、訪問診療を始めようとお考えの先生方に、医院の活性化等につながる進め方を説明する。
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 60人

未入会者とは、協会に加入することができる歯科医師です。協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
M&Dホールとは、歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。